

授業科目 精神保健福祉援助演習

【担当教員名】 伊東 正裕		対象学年	4	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	4	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 精神に障害がある人の社会復帰や社会参加・自立を推進する援助活動を担うために、演習形態により具体的事例を検討することを通して、精神保健福祉士の専門的援助技術及びリハビリテーション技法について、統合的に習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 精神病院等保健・医療施設及び福祉施設における精神保健福祉援助技術のモデル的な事例について、学習課題にそって具体的に検討できる。 2. 面接技術やリハビリテーション技法、さまざまな記録法を用いた援助の評価ができる。 3. 精神に障害がある人に対する援助技術及びリハビリテーション技法を実際に活用できる。 4. 保健医療機関におけるチーム医療や福祉施設におけるチームアプローチを実践できる。 5. 精神保健福祉士としての職業倫理を実践できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	演習の課題と展開方法・保健医療施設等におけるケースワーク 1			1～5	演習（事例検討）
2	"			"	"
3	保健医療施設等におけるケースワーク 2			"	"
4	"			"	"
5	社会復帰施設等におけるケースワーク 1			"	"
6	"			"	"
7	社会復帰施設等におけるケースワーク 2			"	"
8	"			"	"
9	保健医療施設等におけるグループワーク・精神科デイケアの実際			"	"
10	"			"	"
11	社会復帰施設等におけるグループワーク			"	"
12	"			"	"
13	セルフヘルプ・グループとグループワーク 1			"	"
14	"			"	"
15	セルフヘルプ・グループとグループワーク 2			"	"
16	"			"	"
17	保健医療施設等におけるコミュニティワーク			"	"
18	"			"	"
19	社会復帰施設等におけるコミュニティワーク			"	"
20	"			"	"
21	地域組織化とコミュニティワーク			"	"
22	"			"	"
23	チームアプローチによる援助			"	"
24	"			"	"
25	ケアマネジメントによる援助			"	"
26	"			"	"
27	ソーシャルサポート・ネットワーク援助			"	"
28	"			"	"
29	まとめ			"	演習（討議）
30	"			"	"
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		(増補) 精神保健福祉援助演習	柏木昭・石川到寛・荒田寛編	へるす出版	2005・2,800円
参考書		生活支援—精神障害者生活支援の 理念と方法	谷中輝雄	やどかり出版	1996・2,500円
その他の資料		適宜配布する。			
【評価方法】 出席状況・受講態度・レポートなどにより、総合的に評価する。		【履修上の留意点】 この授業は、原則として精神保健福祉士の資格取得を目指す学生を対象とする。 演習形式で事例検討を行なうため、毎回の課題についてまとめを作成して授業に臨むこと。 また実習などでやむを得ない場合以外は欠席しないこと。			